5　保健体育

学校番号	１０１３

令和８年度　保健体育科

教科	体育	科目	サッカーB	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本科目は、体育系大学・専門学校への進学を考えている生徒や運動に真剣に取り組みたいと考えている生徒を対象に内容を構成しています。基本的な技術の習得から高次元の試合を楽しむことができるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・サッカーの合理的な実践を通して、各種技能を身に付けようとする。
・自らの課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断しようとするとともにその考えを他者に伝えようとする。
・公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなど、健康・安全を確保し生涯にわたって運動に親しもうとする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	・知識を活用し、技能向上につなげる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 ・運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせている。	・自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 ・結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 ・公正・協力・責任・参画などの態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	サッカー	フットワーク ボールコントロール パス ドリブル シュート ゲーム	a:サッカーの特性に応じた技能を身につける。技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 b:生涯にわたってサッカーを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:サッカーの楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。	ノート レポート 技能観察	ノート レポート 受講態度の観察	ノート レポート 受講態度の観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度